

# 情報連絡員報告総括表(平成30年10月分)

三重県中小企業団体中央会  
 連絡員総数 40名  
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況									
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化							
製 造 業	食料品	1	3			4		1	3			4			1	3		2	2		3	1		4			3	1						
	繊維工業	1	1	1		3		1	2			3			2	1		3			3			3			2	1						
	木材・木製品			1		1			1				1			1		1				1		1				1						
	紙・紙加工品	1		1		2		1	1			2			1	1		2			1	1		1	1		2							
	印刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	化学・ゴム																																	
	窯業・土石製品	1	1	1		3			3			3			2	1		3		1	2			3			3							
	鉄鋼・金属			1		1			1			1				1		1				1		1				1						
	一般機器		3		1	2			3			3			2	1		2	1		2	1		3		1	1	1						
	電気機器	1				1			1			1		1			1			1				1		1								
輸送機器		1			1			1			1			1		1				1		1				1								
その他																																		
小計	5	10	5	1	19		3	17			19	1	1	10	9	2	15	3	2	13	5	1	18	1	2	13	5							
非 製 造 業	卸売業		1	1		1	1		2			2			1	1		2		X				2			1	1						
	小売業		4	2	1	5		3	3			4	2		4	2		4	2								5	1		3	3			
	商店街		1			1			1			1			1			1									1			1				
	サービス業	1	3	1	X			1	3	1		5		1	2	2		3	2								5		1	3	1			
	建設業	1	2	1					3	1		3	1		3	1		3	1					3	1					3	1		3	1
	運輸業			1					1			1			1				1					1						1				1
	その他		1			1			1			1			1			1									1			1				
小計	2	12	6	1	7	1	4	14	2		17	3	1	12	7		15	5					18	2	1	12	7							
合計	7	22	11	2	26	1	7	31	2		36	4	2	22	16	2	30	8	2	13	5	1	36	3	3	25	12							

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成29年10月～平成30年10月)

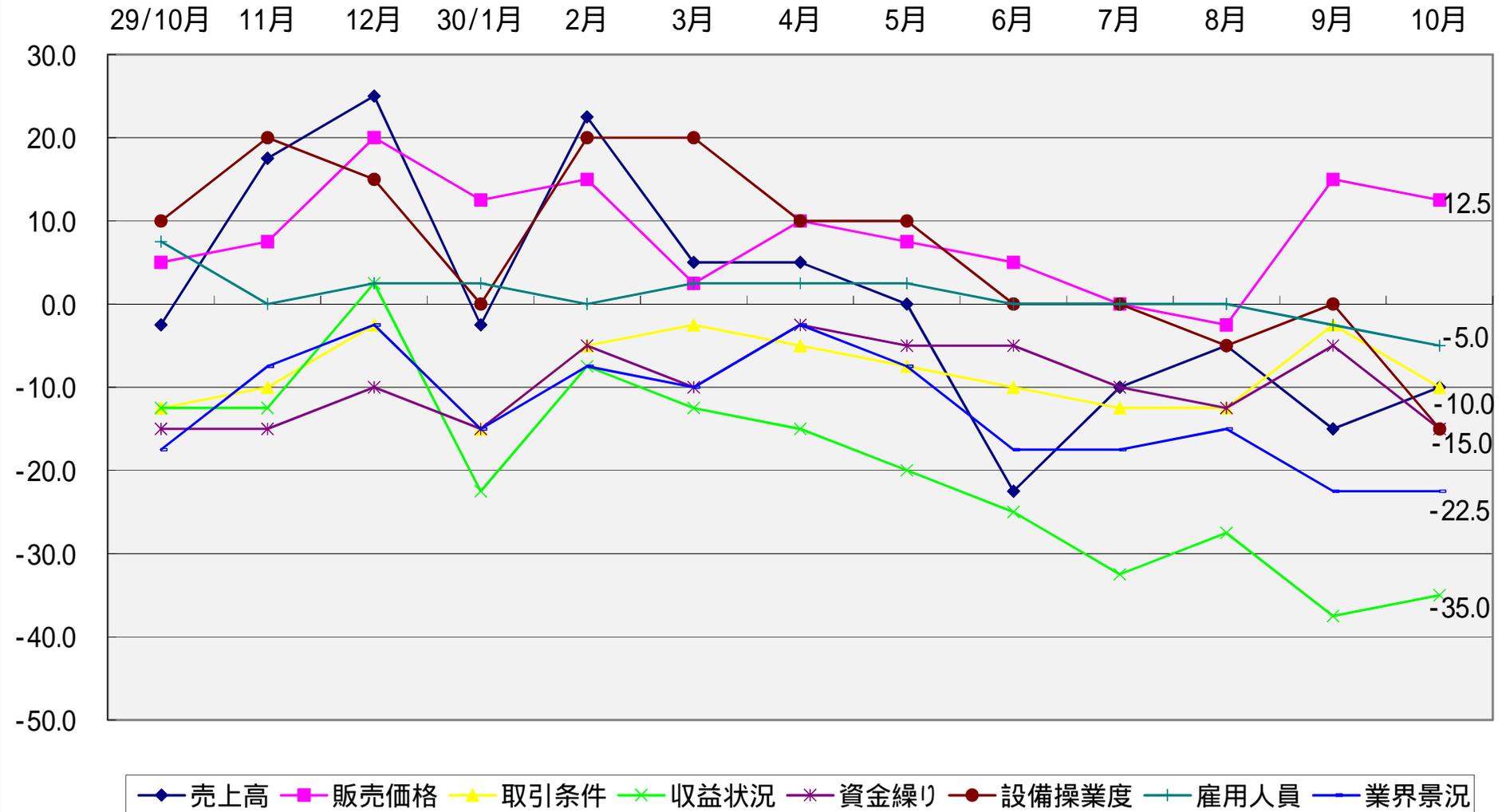
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	29/10月	11月	12月	30/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	増減
売上高	-2.5	17.5	25.0	-2.5	22.5	5.0	5.0	0.0	-22.5	-10.0	-5.0	-15.0	-10.0	5.0
販売価格	5.0	7.5	20.0	12.5	15.0	2.5	10.0	7.5	5.0	0.0	-2.5	15.0	12.5	-2.5
取引条件	-12.5	-10.0	-2.5	-15.0	-5.0	-2.5	-5.0	-7.5	-10.0	-12.5	-12.5	-2.5	-10.0	-7.5
収益状況	-12.5	-12.5	2.5	-22.5	-7.5	-12.5	-15.0	-20.0	-25.0	-32.5	-27.5	-37.5	-35.0	2.5
資金繰り	-15.0	-15.0	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-2.5	-5.0	-5.0	-10.0	-12.5	-5.0	-15.0	-10.0
設備操業度	10.0	20.0	15.0	0.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	-5.0	0.0	-15.0	-15.0
雇用人員	7.5	0.0	2.5	2.5	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	-2.5	-5.0	-2.5
業界景況	-17.5	-7.5	-2.5	-15.0	-7.5	-10.0	-2.5	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	-22.5	-22.5	0.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



報告者名  
報告年月

三重県中小企業団体中央会  
平成30年10月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	秋の長雨や台風の影響により原料野菜の生産が不安定になっており、更に資材の値上がり等により、経営が不安定化している。また、生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、原料野菜の確保に苦慮しており、県外業者との間の新規の取引を検討している。
	醤油味噌	当組合の前身は119年前の明治32年に274組合員で設立したが、戦後昭和23年に182人で現組織が設立されてから、今年で70周年となり、10月20日に感謝のレセプションを開催した。知事や中央会会長にも臨席いただき、無事終了した。現組合員は38人と取り巻く環境は依然として厳しいが、活力ある組合活動を通じて伝統ある醤油味噌の価値をより一層高めて将来に向かいたい。
	豆腐	燃料費が高く、自社便で納品しているところはもちろん、運送業者を利用しているところも、運賃が値上げされてきており、物流コストが収益を圧迫している。
	製麺	10月はイベント開催があり、JA鈴鹿にて農協まつりが10月27日、28日に開催された。また業界の全国大会が静岡県熱海市にて10月17日に開催された。最近では伊勢うどんがマスコミ等で取り上げて頂ける機会が減ってきているので、またイベント活動に邁進していきたいと思っている。
繊維工業	衣料縫製	大手上場企業は過去最高益を更新し続けているが、そのしわ寄せは中小企業によせられ、我々は益々苦境に立たされている。
	テントシート	台風の被害復旧による仕事が増えたが、生地不足により、仕事にかかれぬ物件もある。
紙・紙加工品	紙器段ボール	地域の景況感もよく、天候にも恵まれ、昨年を少し上回る生産量で推移した。ただ、段ボール原紙の値上げに伴う、段ボールシート、製品の値上げ活動が本格化してきた。メーカーは遅くとも年内決着を目指す構えだが、末端ユーザーへの値上げは難航が予想される。
	古紙	10月期の仕入量は、前年比で段ボール：約99±4%、新聞・チラシ：約91±5%、雑誌・ざつ紙・その他合わせて：約92±6%の模様。雨天が少なく、秋需があるように思う。段ボール古紙の発生は比較的に良く、飲料関係の箱流通量は前年を超えているように思う。製紙会社の原紙値上げや原紙輸出もあるようである。新聞・チラシ・雑誌・ざつ紙の集荷は全般的に減っているが、最近遺品整理や家の片づけで古紙の発生があるようで、また様々な回収方法があり、集荷増減の原因とも考えられる。中国・アジア向けの古紙輸出が好調の様であるが、国内需要の納品で余力がない中で古紙の持ち去り行為も活発している様である。
印刷	印刷	三重県民手帳が発売になり、新聞・テレビ・ラジオや地域の情報誌等の広報活動を行った。広報は組合が担当であるが、製作担当の青年部がテレビ等のインタビューに関しても奮闘してくれた。
	伊賀焼	伊賀焼伝統産業会館、伊賀・信楽古陶館とも昨年と比べ入館者数は減少しており、売上も多くはなく、この時期としては少ない。10月は晴天が続き、天候に恵まれていたのに、この結果である。最大の原因はガソリン価格の高騰だと考えられる。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は9月と比較して減少した。特に半導体関連はかなり減少したといえるが、ここ数カ月右肩上がりに増産してきたので、落ち込んだといっても昨年同期比では増加している。自動車関連部品、建築関連部品は8月とほぼ同様であった。その他の製品に関しては、増加、減少しているものと、それぞれであった。なお、半導体関連部品は、当初の観測より増産に切り替わる時期が若干延びそうで、来春以降になりそうとの観測がなされている。
一般機器	四日市	前月と特段変化はないが、この1ヵ月の間に当組合員企業の2社の会長が70歳前半の若さで逝去された。2人とも永年組合の理事を務められ、その功績は多大であり、惜しまれる。
	伊勢	米中間の貿易摩擦が徐々に日本にも悪影響が出始めてきている、一過性に終わってくれれば良いが、長期化するようだと当業界並びに組合員の業績にも悪い影響が出るのを懸念している。
電気機器	鳥羽	下期に入り、受発注はまだまだ好調である。新たな設備更新もされている。
輸送機器	鈴鹿	9月に起こった北海道の地震や本州への台風上陸による停電により、稼働停止となった企業の影響で混乱が生じていた生産計画の挽回で繁忙であるものの、売上自体はほぼ前年並みであった。11月以降の計画・内次度も減少傾向であり、景気の後退感が感じられる。

報告者名  
報告年月

三重県中小企業団体中央会  
平成30年10月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
	青果	野菜前半：北海道産の入荷が回復し、大根・玉葱・ジャガイモが安定的に入荷している。ニンジン北海道が不作のため、やや高い。果菜類のトマト・キュウリ・ナスは高め。キャベツは群馬産が順調に入荷。野菜後半：煮物に使う大根・白菜が寒さを増してきたことで需要が増えてきたが、入荷も多く、価格は平年並みである。ほうれん草は順調に入荷している。果物前半：リンゴは長野産が種類も量も増え安くなってきた。柿も安い。県内産、和歌山産の極わせみかんは味もよく価格も例年並み。果物後半：長野産ラ・フランスの入荷がピークでお買い得。みかんは酸が抜け甘みがあり、味もよい。リンゴは長野産シナノスイートが最盛期で価格も安い。
	自転車	10月に入ると天候も安定し、新車台数並びに修理売上も前年並みとなった。ここに来てなぜか中古自転車の需要が多く感じられ、各ショップも多くの問い合わせがあるとのことである。今後少しリサイクルにも取り組んでみようとの声もある。10月22日に地域研修会としてテーマ「これからの電動アシスト自転車」と題してパナソニックより講師を招き、勉強会を開催したところ、組合員の約半数61名の参加があった。
	石油	10月は、燃料油販売数量が前年対比10%前後の減販であった。8月末以降の原油価格の高騰により、元売の週決め仕切り価格が連続に引き上げられ、10月初旬については、5円以上の値上げであった。10月中旬以降については、原油安が続いたが、ガソリン価格の全国平均は一時160円台の影響もあり、ガソリン販売については、儉約等の意識の影響により限定給油の増加など販売数量が減販した。
	スポーツ	10月は当業界にとっては冬物の受注の月である。秋が早いと注文が入るが、いつまでも暖かいと、注文の数が少なく、寒くなってからの発注になるので、納品に時間の余裕がなく、困ることがある。
商店街	熊野市	夏以来久しぶりに開催された朝市イベントは出店舗数が普段より減少した。同日開催された近隣市町村のイベントが重なったため、出店数が減った原因が大きいと思うが、今後は出店に結びつく創意工夫が必要かと感じる。
サービス業	旅館	9月30日の台風24号は近年にない強風により、多くの施設が被災した。一部営業不能となった部分もあり、各施設とも復旧に全力あげて取り組んでいる。月初めは台風の影響もあり、閑散としていたが、3連休あたりから少し持ち直したが、その後も台風情報が出る等から控える傾向もあって全体では前年同月並み程度であった。
	測量	市町、三重県の測量業務発注もそろそろ終わりになる頃である。下請を受注し、どうにか仕事も忙しくしている。
	警備	例年のことであるが、この時期は大変多忙で受注が多く、人員不足が懸念される。
	内装工事業	10月は対前年比でやや減少となってしまった。業界全体の景況はあまり思わしくない。
	水道工事業 (四日市)	10月は特に大きな動きは見られなかった。ただ人員不足の状況がまだまだ改善されていないため、コストアップに繋がっていると思われる。
運輸業	トラック	引き続き燃料である軽油の価格が高騰しており、収益を圧迫している。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	毎月のHACC P勉強会に取り組んでいく。また、助成金制度を利用していきたいと思う。
繊維工業	衣料	最低賃金の上昇分が、加工賃に反映されていないので、とても厳しい。
一般機器	四日市	事業承継問題がクローズアップされている。黒字経営が続く企業が後継者が決まらず、事業を辞めるのは誠に残念である。
サービス業	旅館	現在「入管法改正法案」が国会で審議されているが、情報をできるだけ早く入れて頂き、夏の繁忙期から新しい制度で求人できることを願っている。
サービス業	測量	組合が金銭的に余力があれば、資金繰りに各社へ協力ができるが、各社が組合運営に資金を貸す状態となっており、組合員の負担が多くなってきている。